

園児エプロン プロジェクト

第3弾、被災地の愛の輪が広がります



南三陸町歌津の女性達が、園児用エプロンを縫っています。

津波で多くのものを失ったお母ちゃん達。震災前までやっていたミシンで何かを作り、自立したいと、強い意思と笑顔で頑張っておられます。

そこで、保育園などで使う園児用エプロンを縫って貰っています。

1セット (園児用エプロン2枚組) 1000円 (税込み送料別)

◇ 申し込み方法：メールにて、件名に「園児用エプロン希望」と明記ください。本文に「希望セット数/送付先住所/氏名」を書いて、下記アドレスまでメールでお申し込みください。確認後、返信メールをお送りいたします。

enjiapron@gmail.com

〒982-0801 宮城県仙台市青葉区南1-1-1 仙台市青葉保育園

◇今回の提案についてご支援のお願い◇

私は実家が石巻で、姪（小6年生）を3月11日の津波で亡くしました。実家も被災し、仙台にいながら何も出来ない自分に歯痒さを感じていた時、今回ご縁があってこのプロジェクトを発案いたしました。仙台市青葉保育園さまのご協力、そして、歌津地区の支援団体「tunagari プロジェクト」様を通じて、被災地での手仕事支援として、このプロジェクトが実現いたしました。忙しい園児ママは助かるし、被災地のお母ちゃんたちの副収入になる・・・双方が幸せになれる新しい支援のカタチとして、全国にその輪が広がっています。みなさま宜しくお願いいたします。

園児エプロンプロジェクト 代表 大坂 裕子。